

総務青少年室

青少年の夢創造委員会

1 委員長／五十嵐 健太 副委員長／川端 康寛 委員会幹事／中村 潤  
2 委員／鎌鹿 玄介 東海林 信太朗 二本柳 匡沙子 濱道 真樹 藤谷 匡史  
3 松田 貢典 吉崎 大

4 本年度私たち青少年の夢創造委員会は、明るい未来を引き継ぐ責任を有する私たちの運  
5 動により、自らの未来を描いていく子供たちが、道徳性や創造性を有した若い力の成長と、  
6 目標に向かう過程において発生する問題に率先して取り組んでいける人材の育成を結びつ  
7 け、夢と希望あふれる未来へつながる地域を構築するよう活動してまいりました。

8 まずは、6月例会わんぱく相撲函館場所福島大会において、子供たちには勝敗にこだわ  
9 るだけではなく、勝者を称え敗者を敬い思いやる心の醸成と、私たち大人は、地域の方々  
10 とともに子供たちの他を思いやる心を育むための意識の醸成を目的として開催いたしました。  
11 残念ながら雨天対応での実施となってしまったために、実際の土俵ではなく体育館で  
12 の開催となりましたが、100名近くもの子供が福島町に集い、日本の伝統文化である相  
13 撲を通じ真剣に体と体をぶつけあい、日常ではなかなか得られない体験をしてもらいました。  
14 今年度は、実際に競技として相撲を行っている高校生の選手にも協力していただき、デモンス  
15 トレーションを行っていただいたことで、改めて礼節や協調性を学ぶことができました。また、  
16 保護者や地域の方々も300名近くご来場いただき、子供たちの一生懸命な姿に声援や激励を  
17 いただくとともに、子供たちの成長していく機会を間近に感じられたのではないかと思います。  
18 そして、10月例会JCデー夢かがやけ！想いが未来を照らす！においては、夢を持つことの  
19 大切さ認識していただくことを目的に開催いたしました。午前の部では、子供たちを対象とし  
20 ペットボトルロケット製作・発射体験を通じ、自ら学び努力してやり遂げることの大切さを学  
21 んでもらいました。実際に形のないものから完成に向け作成していく中で、試行錯誤し挑戦し  
22 ている姿は、子供たちの成長力を感じとることができました。そして、午後からは大人も含め  
23 た地域の方々を対象として、植松努氏を講師としてお招きし講演会を実施しました。実際に夢  
24 をあきらめず追い続け夢を実現した植松氏より、何事も「どうせ無理」と思い諦めてしまうの  
25 ではなく、周りの人々が「だったらこうしてみたら」という言葉で可能性を広げ、挑戦するこ  
26 との大切さをお話いただきました。子供たちには夢を持ち続け挑戦することの大切さを感じて  
27 いただき、私たち自身も夢を持ち続け子供たちに背中をみせていく大切さを感じることができ  
28 たと思います。

29 最後に、当委員会は全メンバーのご協力のおかげで事業を開催することができました。  
30 ご協力いただいたメンバーには心より感謝とお礼を申し上げます。また、将来この地域を  
31 担う子供たちと接することにより、改めて若い力のパワー・成長力・可能性を感じるこ  
32 とができました。青少年育成事業は子供も私たち大人も成長することができる事業だと思  
33 いますので、これからも毎年継続して開催していただきたいと思います。